

NIPPO

刺激臭がなく車内保管が可能な製品、長期保存もできる 環境に配慮した全天候型常温合材「レミファルトECO」

アスファルトは常温で固く、温度が高くなると軟らかくなる性質があります。加熱合材はこの性質を利用してアスファルトを160～185℃程度に加熱して製造し、軟らかくして施工に使用しています。一方、常温合材は、加熱する代わりに添加剤を使用してアスファルトを常温で軟らかくしています。袋詰めなどにより外気に触れさせないことで一定期間の保存が可能であり、道路の穴や段差などを緊急的に補修する場合などに使用されています。

従来、アスファルトを軟らかくしている添加剤にはVOC（揮発性有機化合物）が含まれているため、製品にはシンナーのようなVOC特有の刺激臭があります。そこで、VOCを抑制して、従来よりも臭気レベルを半減した常温合材「レミファルトECO」を開発しました。刺激臭がないので、開封後も車内や室内に保管できます。

その他の主な特長は、以下のとおりです。

- ・水たまりでも施工できる全天候型であり、最大粒径5mmの細粒型を基本配合としていることから作業しやすく、道路の穴（凹み）の形に合わせた施工が可能で扱いやすい製品です。
- ・未開封であれば、製造から約1年間の長期保存が可能のため、自然災害発生時の仮復旧用として長期の備蓄ができ、使用されずに在庫処分となる廃棄も低減できます。

「レミファルトECO」を環境に配慮した製品の使用や資源の有効活用に取り組まれている公共機関や民間企業に積極的に提案していきます。



袋詰め製品パッケージ

「未知」に挑み、「道」を繋ぐ。

全国の200社を超えるNIPPOネットワークは、

日々変化する社会環境に応じ、

お客様のニーズにタイムリーに対応すべく進化していきます。

すべては「豊かな社会の実現」のために。



株式会社 NIPPO

本社 東京都中央区京橋1丁目19番11号

TEL (03) 3563-6711 <https://www.nippo-c.co.jp/>